

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」富士宮校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用者様の特性に合わせて3つの教室を使い分けている。必要に応じてパーティションを使用している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令上必要となる人数より1名以上多く配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	必要に応じて可能な限り改善に取り組んでいく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			支援報告を毎日行い、目標に対して現在の支援がどうであるか等の確認や提案ができるような体制ができています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査を実施し、その結果を共有し今後の業務改善に努めていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて、評価及び対応について公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価を受けていないため、本部と協議の上行うか検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に内部研修や外部研修の機会を設けている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的に保護者様、利用者様と面談を行い、ニーズの把握に努めている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			チームで都度話し合いを行い、立案をしている。様々な意見を取り入れやすい環境になっている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者様の様子、ニーズ、課題について都度検討し、場面に合わせて内容を変化させている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	個別療育のため支援内容を平日や休日等でわけて設定をしていない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	基本的に個別での計画を作成。必要に応じて集団を検討し計画を作成する。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			前回の様子を職員間で共有した上で、支援内容について検討している。

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			報告会を行い情報共有に努めている。就業時間間際まで支援していた場合は翌営業日に共有をしている。
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回記録を残し、全体でいつでも情報共有や確認ができるシステムになっている。
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に面談、アセスメントを行い、計画の見直しを行っている。
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			ガイドラインに沿って行っているが、地域支援に関して弱さがあるため今後検討していきたい。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			児童発達支援管理者・管理者の他、担当指導員も参加する等、ふさわしい者が参加できるよう努めている。
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		送迎は行っていないため、年間計画等は学校のHPや保護者様に確認をしている。
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在医療的ケア児はおらず、必要があれば対応をしている。
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	保育所や幼稚園等の訪問は行っているが、利用者様の情報共有は行っていない。今後検討していく。
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	事業所で行ったこと、計画、モニタリングについて書面にし、保護者様を通して情報共有を行っている。移行会議があれば積極的に参加していきたい。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	児童発達支援センター等、必要に応じて助言を受けている。
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後必要に応じて検討する。
	㉑	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			管理者他、必要に応じて指導員も参加している。開催があれば毎回参加をしている。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回支援後に保護者様と話し合う時間を設け、共通理解に努めている。また、相談支援として希望があればお話をお伺いする機会を別途持っている。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	相談を受けた際は時間を設けて話し合いを行い、出来得る範囲での助言、支援を行える環境を整えている。
保護者へ	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、変更時には都度書面にて説明をしている。
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			ご相談のある際は出来得る範囲内での助言、支援を行える環境を整えている。

の 説 明 責 任 等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	イベントを通して実現出来るよう、運営に努めていく。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付体制を整えるとともに、受付窓口を設定している。苦情をいただいた際には、迅速かつ適切に対応をしていく。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			事業所内掲示やインスタグラム、ブログ等で情報発信を行っている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の含まれる書類等は鍵付きロッカーに保管し、取り扱いにも留意している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々の特性に合わせた聞き方、話し方、情報伝達方法を用いている。
非 常 時 等 の 対 応	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今後イベントを通して実現出来るよう運営に努める
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを策定しいつでも閲覧できる状態にしている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月一度様々な場面を想定し訓練を行っている。訓練後、職員間で意見交換を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			マニュアルを策定し研修を行っている。また、外部研修を受けた際の情報共有も行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に保護者様へ説明を行っている。身体拘束について、行う必要性が出てきた場合には、検討をしていく。
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事の提供を行っていない。契約時にアレルギーの確認を行っている。該当物質がある場合は配慮を行う。	
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットが起こった際には報告書を作成、今後の運営に活かすことができるよう職員同士で共有を行っている。	

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」富士宮校

保護者等数（児童数）： 51（58）回収数： 22 割合 43 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	1		室内がきれいで明るくて良いと思います。うちは特に広い教室と使わせてもらっているのがありがとうございます。 →今後も安心してご利用いただける支援室を作っていきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	3		こどもがどう思っているかによる。 本人が先生との相性が良ければよいのかもしれない
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	7	1	トイレに手すりがあると助かります。 →今後検討していきたいと思います。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	21	1		計画の期間途中でこちらの希望を取り入れてもらったりしてすぐに対応してもらっています。 →臨機応変に対応できるよう努めて参ります。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	21	1		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	10	7	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22			何か変更があった時は都度説明を受けています。 →今後も安心してご利用いただけるよう丁寧な説明に努めて参ります。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	1		小さな成長も見逃さず保護者の励みになるような声掛けをしてもらっています。 →お子さまの成長を保護者と一緒に共有させていただけることにとても喜びを感じております。今後も多角的な視点を持った成長のサポートに努めて参ります。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	3		相談しやすい状況を作ってもらえています。 →大切なお子さまのご相談をさせていただきありがとうございます。保護者様のお話からお子さまの様子をお伺いすることができ、大変貴重な時間となっております。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	7	11	特に求めている
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	7		上記質問に対して苦情をもったことがないので対応がわかりません

	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	1		困りごとやわからないことなどの問い合わせにきちんと向き合ってもらえています。またアドバイスなどももらえて助かります。 →ご相談いただきありがとうございます。今後も相談していただきやすい環境づくりに努めて参ります。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	8	1	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	21	1		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	4		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	5	1	訓練の様子が掲示されていてとても分かりやすいです。 →掲示の閲覧ありがとうございます。引き続き見やすい場所に掲示し、訓練の様子をお伝えしていきます。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	19	3		・交流や社会性を育てる取り組みをしています 職員の皆さんにもとてもご配慮いただき、本人は行くのが楽しみとっています →私たちもお子さまにお会いできることをいつも楽しみにしております。来所を楽しみにしていただけるよう、それぞれの様子に合わせた支援プログラムの構築に努めて参ります。 ・最近では色々な両立が難しくなってきたり 頑張っているようだが負担も大きい →利用日数や時間の調整等はいつでもご相談ください。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	18	3	1	・内容には満足しているが、45分ではなく60分にしてほしい →検討させていただきます。 ・夏休み等は長い時間支援してもらえたら嬉しい 息子に対して深く細かく理解してくれている先生が多く心強く思っています →今後も安心感を持ってご利用いただけるよう精進して参ります。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。